

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 04 06	中期総合計画主要施策番号	1-01,1-02,3-08	担当課	部・課	林務部森林づくり推進課	
事業名	流域管理森林と水特別対策事業(公共〔治山・造林〕) (一部森林整備加速化・林業再生基金活用事業)				内 線	3256(造林),3260(治山)	
					E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H15 ~ H24	根拠法令等	森林法第193条、同施行令第12条				
実施方法	県が直接実施(入札による請負契約)					国庫・ 県単	補助公共・ 国庫補助事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	「治水・利水ダム等検討委員会」において検討された流域(9流域)における森林整備を集中的に実施し、森林の洪水防止機能や水源かん養機能の向上を図る。				
	対 象	9流域(浅川、砥川、薄川、角間川、清川、黒沢川、郷土沢川、駒沢川、上川)の森林所有者				
	目指すべき姿	対象流域においては、適正な森林整備(間伐等)を行い、災害に強い森林づくりを目指す。				
	事業内容	流域内の森林において間伐を主体とした整備を集中的に実施する。 (補助率:県営公益森林機能増進事業〔国〕定額250,000円/ha,治山事業〔国〕1/2～1/3,〔県〕1/2～2/3)				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳  工事請負費:157,317千円 賃 金 : 2,516千円  (H24への繰越:86,661千円)
	最終予算額 (A)		千円	264,136	250,318	143,745	
	決 算 額 (B)		千円	163,087	159,833		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	30,573	41,536	9,945	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	4.00	4.00	4.00	
		概算人件費 (C)	千円	33,268	33,032	33,032	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	196,355	192,865	176,777		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績  (効率指標算出式) 概算事業費 / 森林整備面積
	森林整備面積(活)		ha	1,330	943	565	
	森林整備面積累計(活)		ha	7,123	8,066	8,631	
	進捗率(活)		%	72.6	82.3	88.0	
	<効率指標> 間伐面積当りの単価		千円 / ha	148	298	565	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	流域内の森林整備を実施し、洪水防止機能、水源かん養機能の向上を図るため、H23年度は流域内の390haの森林整備を実施する。			・平成23年度は、398ha(102%)の流域内の森林整備が推進された。 ・10年計画のうち9か年が経過し、計画面積9,806haに対し、8,066ha(82%)の森林整備が実施され、ほぼ期待通りの結果が得られた。			b 期待どおり

  

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の 説明	・洪水防止や水源のかん養など森林のもつ公益的機能を十分に発揮させ、県民の安全・安心な生活を守るため、事業を推進することは急務でありニーズは高い状態で推移している。 ・9流域については、緊急に整備をする必要性の高い森林があるが、高齢化等により所有者が森林整備を行う事が困難であるため、県が主体となって森林整備を進めていく必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、 取組方針等)	重要な流域の森林について、面的な整備が進み、公益的機能の維持・向上に貢献しているが、今後の計画箇所が、零細面積の所有者が多いため集約化作業を効率的に進め、適正に森林整備が行われるよう努める。				
	特記事項	H24事業完了予定				